



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 中村橋教室 TEL. 5971-3615

学年末の月です。みなさんは充実した1年を過ごすことができましたか？ 来年度も目標が達成できるように努力しましょう。そして春休みにこれまでの復習をして、次の学年がよいスタートを切れるようにしましょう。

(写真 Limesoda/PIXTA)



だれでも分かる

教育情報 & ニュース



(写真 K@zuTa/PIXTA)

衆議院選 与党圧勝 第二次高市内閣発足

2月8日に行われた第51回衆議院選挙は、与党である自民党(自由民主党)が圧勝し、単独で3分の2の議席(316)を確保しました。この議席数は、自民党結成以来最多で、政党が単独で3分の2を確保したのは戦後初です。2月18日召集の特別国会で、再び高市早苗自民党総裁が内閣総理大臣に選出され、第二次高市内閣がスタートしました。

総務省によると、今回の衆議院選の投票率は小選挙区で56.26%、比例代表で56.25%と戦後5番目の低さでした。衆議院で定数の3分の2の議席を確保できると、政権与党が憲法改正を発議したり、参議院で否決された法案を再可決し成立させたりできる強力な権限を持つことができます。これからの日本がどう動かされていくのか、注視しましょう。

衆議院	参議院
4年	任期 6年
あり	解散 なし
25歳以上	被選挙権 30歳以上
465	定数 248

トリノ・コルティナ冬季オリンピック閉幕

イタリアで2月6日から約2週間行われていた、ミラノ・コルティナオリンピックが閉幕しました。日本選手団は、スノーボードやフィギュアスケートなど、さまざまな競技で活躍し、冬季オリンピックとしては最多の24個のメダルを獲得しました(金5、銀7、銅12)。

国際的な非営利的団体である世界経済フォーラムの報告書によると、地球温暖化の影響で降雪量が減少し、2040年までに冬季オリンピックの開催が可能な国や地域はわずか10か国に減少すると見込まれています。これからの冬季オリンピックのあり方を考える必要があります。

3月6日からは、パラリンピック冬季大会が開催されます。また、次回2030年のオリンピックは、フランスのアルプス地方で開催される予定です。

iPS細胞の製品販売へ 世界初

厚生労働省の専門化部会は、iPS細胞を使った2種類の再生医療製品の製造販売を了承しました。後日、厚生労働大臣が承認し、世界初のiPS細胞を使った製品が販売される見込みです。

iPS細胞は、「人工多能性幹細胞」、または「誘導多能性幹細胞」と呼ばれるもので、皮膚などから取り出した細胞に遺伝子を組み込んで作られた、体中のさまざまな臓器や組織に成長することのできる細胞です。2006年に京都大学の山中伸弥教授らがマウスの細胞からiPS細胞を作り出すことに成功しました。iPS細胞は再生医療や新薬開発の新しい道を切り開くものと評価され、2012年に中山教授はノーベル医学・生理学賞を受賞しました。

しんがくねん せな
新学年に備えよ!

はる やす ゆう こう り よう 春休みを有効利用しよう!



4月になると、みなさんは新学年に進級します。中1のみなさんは先輩になり、中2のみなさんは高校受験に臨む学年になります。新しい学年でよいスタートを切れるように、この春休みを有効利用して準備をしておきませんか? 今回は、この準備のしかたについて紹介します。中学校に入学する小6のみなさんも、ぜひ参考にして下さいね。

(イラスト Gugu/PIXTA)

どんな1年にしたいか考えよう!

まずは、「4月からどんな1年を過ごしたいか」を考えましょう。この1年間でうまくいかなかった点やもっと伸ばしたかった点など振り返って、「なりたい自分になるため」の目標を立てましょう。例えば、勉強ならば「数学で学年10位に入る」、部活動ならば「大会で入賞する」「レギュラー入りする」など、具体的な数値や結果を考えましょう。

目標が定まると、人はそれに向かって努力することができます。目標達成のために、大まかな計画表を作ってみましょう。テストや大会の日からさかのぼって、「いつ、何を、どのくらいするのか」を書き出してみることで、やることを視覚化して実行に移しやすくなります。

まえがくねん ふくしゅう 前の学年の復習をしよう!

新学年では、前の学年よりも学習内容がさらに難しくなります。苦手な教科をそのままにしてしまうと、授業についていけなくなる可能性もあります。特に数学や英語は、前学年の内容を土台として新しい内容を勉強します。出だしてつまづかないように、春休み中はこれまでに学習した内容を中心に振り返るとよいでしょう。教科書や定期テストを見返し、問題の直しをしましょう。春休みのうちに苦手範囲をなくせば、自信を持って新学期の勉強に取り組めますよ。

ふだんの勉強のしかたを改めて確認!

みなさんの中には、部活動と勉強の両方を頑張っている人がいると思います。特に中2のみなさんは、先輩として中心に立って活躍していくことになります。「忙しくて勉強する時間がない」と思う人もいるかもしれませんが、上手に時間を使ってよりよい方法で勉強すれば、勉強と部活動の両立は可能です。そのために、ふだんの勉強のしかたを改めて確認しましょう。

- ・「学習当日」「週末」「テスト前」に復習する習慣をつける
- ・ルールを決めた見返ししやすいノート作りを心がける
- ・自分の1日の過ごし方を見直し、時間の使い方を考える



だらだらする時間は多くないですか? であれば、その時間を勉強に充てましょう。また、朝の時間や寝る前、授業の開始前などの5~10分の「スキマ時間」に、漢字や英単語を2、3語覚えることができます。「スキマ時間学習」を習慣づけて毎日少しずつ積み重ねていけば、半年後、1年後には大きな差が生まれます。

ひとくち 一口アドバイス

★目標の設定のしかた

目標は少し高めの設定が理想ですが、「最初から、この目標は、ちょっと無理かも…」とくじけそうな人は、中間目標をいくつか立て、少しずつ達成感を積み重ねていくのもOK。

★復習時間の考え方

ふだんの復習は、1日30分~1時間程度、集中してやりましょう。中3のみなさんは、授業の復習と受験勉強のことを考えて、1~2時間程度時間をとるのが理想的。そして時間に余裕のある週末は、2~3時間しっかり復習しましょう。

★見返ししやすいノートの作り方

行間はゆとりを持たせ、ケチらず使しましょう。見やすくなり、あとからポイントやメモを書き加えるのに便利です。使うペンの色は3色程度に。

「赤は重要、青はメモ」のような使い方を決めましょう。色が多すぎるとノート作りに時間がかかるうえに、要点がわかりづらくなる恐れがあります。